

平成19年度 事務事業評価表	担当	上下水道部 下水道課	内線等	2224
事務事業名	下水道普及促進事業		事業コード	5. 義務的事業
根拠法令等	下水道法		A 法令	

総合計画での位置付け

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	下水道
------	--------------------	-----	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	下水道供用開始区域内の未接続世帯に対し
手 段	普及パンフレットの送付や下水道課職員が戸別訪問を行うことにより
想定する成果	接続率を向上させ、下水道施設の有効利用と効率的な下水道運営を図る

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
普及活動世帯数	588世帯	738世帯	708世帯
未接続世帯数	1,790世帯	1,715世帯	1,675世帯
接続世帯数	14,297世帯	15,013世帯	15,250世帯

成果指標

成果指標名	接 続 率	普及活動割合
成果指標の説明	$\frac{\text{接続世帯数}}{\text{接続世帯数} + \text{未接続世帯数}} \times 100$	$\frac{\text{普及活動世帯数}}{\text{未接続世帯数}} \times 100$

事業の進捗状況 （ 下水道事業特別 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		88.9%				89.7%				90.1%			
成果指標		32.8%				43.0%				42.3%			
事業費	事業費	106				133							
	人件費	9,575				9,607				9,655			
	(人数)	正規	1.2	非常勤	0.1	正規	1.2	非常勤	0.1	正規	1.2	非常勤	0.1
	合計	9,681				9,740				9,655			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	9,681				9,740				9,655			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	微弱ではあるが着実に接続率の向上がみられる。
経済効率性	3	3	3	3	普及促進活動を行い下水道への接続世帯が増加することにより、使用料の増収となる。
事務効率性	2	3	3	3	通常の事務に加え、戸別訪問を100戸余り実施するため、相当程度の事務量が必要となる。
必要性	-	3	-	3	義務的事業
小計	7	11	8	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	諸物価高騰のなか、経済的に下水道接続が難しい家庭が多いが常に普及活動に努め、使用料確保及び投資効果において必要不可欠な事務事業である。
合計	10	11	11	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	A	B	B	法律上、供用開始区域内は下水道に接続することが義務付けられており、接続率100%を達成することが下水道管理者の務めであるため、必要不可欠な手段である。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
確実な普及率の向上を図るために、普及活動五ヵ年計画を策定し、『戸別訪問重点地区』と『パンフレット等の郵送による活動地区』を定め、更にきめ細かく普及促進を実施する。
上記改善点の実施状況
平成17年度(第1期)から平成21年度(第5期)を策定し、平成20年度(第4期)を実施する。

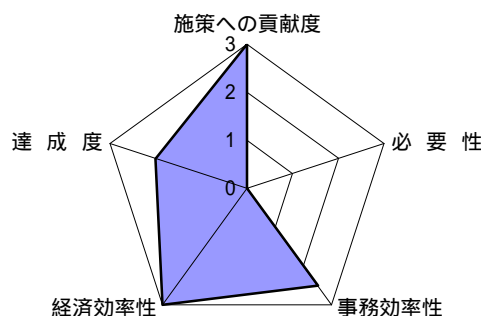
今後さらに改善すべき点

平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

**現状維持**

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】